

# 平成27年度 平田村立小平中学校 学校経営・運営ビジョン

《本校の特色と課題》

**特** ○ルールを守り生活習慣が身についている。  
○諸活動や役割にまじめに取り組む。

**色** ○保護者との協力体制ができています。

---

**課** ●基礎学力の定着は十分ではない。  
●自信がなく、主体的に行動できない。

**題** ●コミュニケーション能力が十分ではない。

《保護者との連携》

○閉校を意識し、積極的な情報発信を行い、理解協力を得ながら、有終の美を飾るにふさわしい事業を推進する。

□学校だより、各種通信、HP等を活用し、積極的に情報発信を行います。

□日常的な連絡、相談を重視し、保護者との信頼関係を深めます。

□保護者と教職員との連携を図ったPTA活動を推進します。

□閉校に向け、共通理解を図り、協力を得ながら記念行事や活動を進めます。

《教育目標》

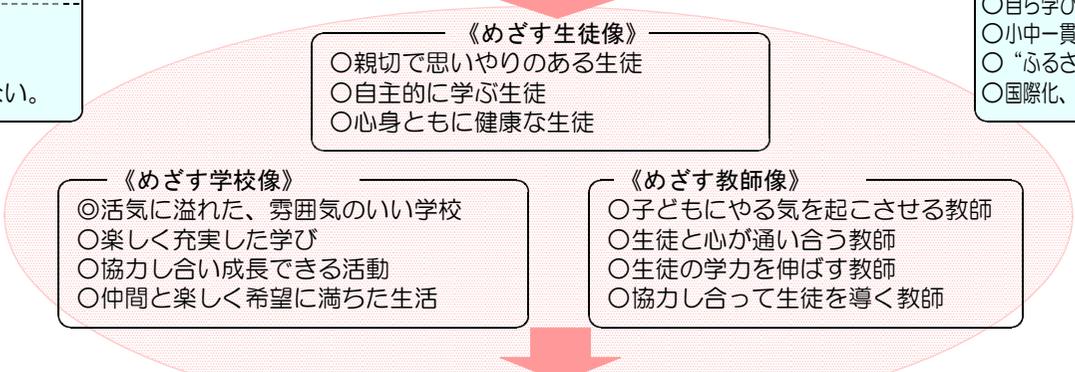
広い心を持ち、自ら学ぶ心身ともに健やかな生徒

《平田村教育指針》

◎豊かな心と生きる力を育む教育  
～自分の思いや考えを持ち、豊かな表現で伝えることのできる人間の育成～

---

○自ら学び自ら考える力等の確かな学力の育成を図る教育の充実。  
○小中一貫教育と統合中学校の基盤作りを目指す中・中交流教育の推進。  
○“ふるさとひらた”を愛する心の育成を目指した教育の推進。  
○国際化、情報化社会等に適合したコミュニケーション能力の育成。



★平成27年度の重点★

- ◎授業の改善・充実および家庭学習の改善・充実による学力の向上
- ◎生徒会活動の活性化及び積極的な生徒指導推進による生徒の主体性の育成
- ◎学校統合・閉校に向けた事業の確実な推進と生徒や保護者、地域との連携

《地域との連携》

◎学校間の交流、地域との連携を密にした学校運営に努めるとともに、地域とともに、閉校事業を推進する。

□学校統合を控え、学区内中学校との連携事業や共同行事の充実に努めます。

□授業や総合的な学習の時間において、積極的に地域教材、人材を活用します。

□学校祭、学校公開を通して、地域の方々との交流を深めます。

□地域との連携を図りながら、協力を得て閉校事業を推進する。

「徳」【豊かな心の育成】

感謝と思いやりの心を持ち、進んで協力や奉仕ができる生徒の育成

《重点項目》

- 主体性を生かした生徒会活動の推進
- ふれ合いある温かい学級づくり
- 縦割り活動の推進と伝統の継承

《実践事項》

- 「自主管理」と「ファーストペンギンプロジェクト」の実践を通して、生徒会活動をより活発にします。
- 元気のよいあいさつ、マナー、思いやりの態度を身につけさせ、友好的な人間関係の基礎を築きます。
- 積極的な生徒指導を推進し、生徒個々のよさを引き出し、自信を高め、たくましい心を育てます。
- 道徳の授業を核とし、学校教育全体を通して、豊かな心を育てる教育を進めます。
- 学校行事や生徒会活動を通して、奉仕の心、協力の心を育み、小平中生としての自信と誇りを持たせます。

「知」【確かな学力の向上】

学習の仕方を身に付け、進んで学習し、自己実現できる生徒の育成

《重点項目》

- わかりやすい授業の実践
- 家庭学習の習慣化と内容の充実
- 読書活動の推進

《実践事項》

- 「学び合い」をキーワードとした、校内研修によって、生徒の主体性を生かした授業づくりに取り組みます。
- 陰山メソッドによる徹底反復学習や個に応じた指導を徹底し、基礎的・基本的な内容の定着に努めます。
- 毎日の家庭学習の改善を意識させ、個々の取り組みに励ましやアドバイスを与え、家庭学習の質の向上を図ります。
- 毎朝S-PROJECTを実施し、朝学習や読書を計画的に実施し、基礎学力を身に付けさせます。
- 各種コンクールやコンテスト等に積極的に参加させ、学習意欲を高めます。

「体」【健やかな体の育成】

自他の安全に心掛け、進んで心身を鍛える生徒の育成

《重点項目》

- 体力・運動能力の向上
- 部活動の充実
- 正しい生活習慣の育成

《実践事項》

- 全員入部の部活動や特設陸上・駅伝の継続的な取り組みによって、体力や忍耐力、そして協力性や連帯感を育てます。
- 「保健だより」や「各種健康教室」の実施により、健康に対する意識を高め、正しい生活習慣を身につけさせます。
- 食育全体計画に基づいて、保護者と共に食育の充実を目指します。
- 交通事故防止に向けた安全教育や震災・放射線に関する指導を充実し、危機管理意識や危機への対応能力を高めます。
- 各種大会へ積極的に参加することによって、活動への意欲を高め、目標に向かって努力できる生徒を育成します。